

3 山火山防災協議会 会議資料

平成 30 年 2 月 27 日
福島県観光交流課

安達太良山避難小屋（くろがね小屋）建替整備計画について

1 背景

以下の状況を踏まえ、観光資源・防災施設としての機能を引き続き維持強化するため、くろがね小屋の建替を実施する必要がある。

- (1) 築 53 年が経過し、施設の老朽化が進んでいること。
- (2) トイレについて、浄化設備等の周辺環境への配慮が必要であること。
- (3) 火山噴石等に耐えうる屋根補強工事等の実施が望ましいこと。

2 基本方針（一部抜粋）

- (1) 各種規制が及ぶ中で早急な建替を実現するため、現在の鉄山下宿舎事業認可敷地内での建替を行う。
- (2) 一定程度の大きさの噴石等に耐えうる強度を持たせるとともに、火山防災情報をいち早く発信する機能を備えることとする。
(二本松市と連携協議)
- (3) 太陽光や温泉熱等の自然エネルギーを活用し、環境負荷の低減を図る。

3 その他

- (1) 地形的に火山性ガスが滞留しやすいため、計測機器等の整備を行う。
※建替を待たずに購入を検討。
- (2) 二本松市と連携し、防災無線の設置を検討
- (3) 建替情報と併せて、工事期間中にくろがねの宿泊営業停止となる旨を十分に周知する。